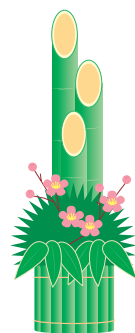


本年もよろしくお願いいたします。
発電所員一同、一致団結し、より一層の
安全性向上に努めてまいります。



発電所長からの新年ご挨拶

あけましておめでとうございます。

当発電所は、おかげさまで昨年12月に営業運転開始から、10周年を迎えることができました。これもひとえに、地域の皆さまの温かいご理解とご支援によるものと心より厚く御礼申し上げます。

さて、東日本大震災以降、当発電所は運転を停止しておりますが、昨年11月、敷地内断層に関する初めての審査会合*が開催され、本格的な審議が始まりました。引き続き、審査への対応に全力を傾注してまいりたいと考えております。

さらに、当発電所では、新規制基準への対応にとどまらず、さらなる安全性の向上に向けた取り組みを、設備・人の両面から自主的・継続的に進め、地域の皆さまからのご理解を得ながら一日も早い再稼働を目指してまいります。

今後とも、安全を最優先に、地域の皆さまから親しまれ、信頼される発電所を目指して、所員一丸となって取り組んでまいります。

地域の皆さまには、昨年同様、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまの益々のご健勝をお祈り申し上げます。



東通原子力発電所長
金澤 定男

※昨年11月27日の審査会合では、有識者会合以降に拡充した新たなデータ等も示しながら、敷地内断層に少なくとも第四紀後期更新世(約12～13万年前)以降の活動性はないことを改めて説明しました。原子力規制委員会側からは、今後の審査の進め方等についてコメントがありましたが、当社としましては、ヒアリング等を通じて原子力規制委員会の考え、解釈などについて確認させていただきながら、今後の審査に対応していくこととしています。

交通安全大会を実施しました

平成27年12月16日、発電所員および協力会社社員が一堂に会し、冬期間における無事故・無災害の達成を目的として、「交通安全大会」を開催しました。

大会では、むつ警察署交通課長の千葉真樹氏より交通安全に関わる講話をいただいたほか、事前に募集した安全標語(交通安全、安全衛生、放射線安全の3部門)の表彰や参加者全員による安全標語の唱和を行い、安全意識の高揚を図りました。

最後に、参加者を代表して、株式会社京谷電気の奥崎彰人氏が安全宣言を読み上げ、発電所および協力会社が一丸となり無事故・無災害を達成することを誓い合いました。



交通安全講話



安全標語の唱和



安全宣言の読み上げ

<安全標語(最優秀賞)のご紹介>

交通安全部門 「思い出す ヒヤリで済んだあの時を 今日も一日安全運転」

【三洋工業株式会社 中村 大介 氏】

安全衛生部門 「うまくやるより正確に 早くやるより慎重に 心一つにゼロ災職場」

【株式会社シービーエス 大山 寛正 氏】

放射線安全部門 「正しい知識で確かな作業 基本を守り被ばく低減」

【株式会社シービーエス 富沢 純 氏】

新年を迎え、新たな気持ちで安全祈願祭を実施しました

平成28年1月6日、田名部神社において安全祈願祭を実施しました。

当日は、発電所および協力会社の代表者が出席し、今年1年の安全を祈念しました。

今後も協力会社と一丸となって、安全最優先で業務に取り組んでまいります。

